

2022年10月20日

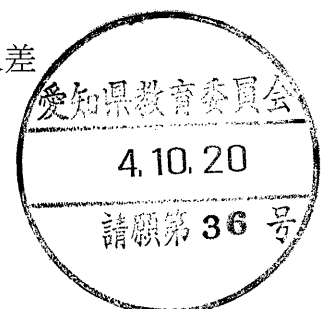
新しい「校則」作成を、各学校の生徒会（なければ代わるもの）に対して、各学校、及び県教育委員会が依頼することを求める請願。

住所 [REDACTED]

氏名 行政を考える住民の会 事務局 宮崎邦彦

請願の趣旨 理由。

- 1 「ブック校則」実態調査へ 愛知弁護士会が県立高に
2022年7月21日17:45 産経新聞 資料1
愛知県弁護士会が、今秋、県立高校の校則の実態調査を始めるとい
うことである。本来なら、見直し等の機会があったともいえる
が、弁護士会の対応については、率直に、意見を聞くことは有意義
であるといえる。
- 2 「理不尽な校則」に歯止め(2022年8月27日 朝日新聞 資料2)
文科省が、指導提要改定ということである。校則に関する記述が大
きく変わった。ということである。児童会・生徒会などの場で子ど
も同士が論議する必要性もうたった。とある。
生徒指導 子どもの権利踏まえて(2022年9月13日 朝日新聞
資料3) 社説で取り上げられていることは、全国的に関心が集まっ
ているということであり、多様性、個人差に応じた、学校の対応が
問われているということである。
- 3 もうすぐ中学生 制服はいらない(2022年9月15日朝日新聞 声
資料4)) 男はズボン、女はスカートなど、へん見のお手本のよう
です(愛知県立高校の、「校則」にも見受けられました)。
制服はジェンダーの問題に関係しています。とある。
- 4 制服の校則話し合いを(2022年8月31日中日新聞 資料5)
ジェンダーレスの制服を採用する学校も出てきています。というこ
とでもあることを考えると、早急にすべての学校でそうなっても
らいたい。
- 5 制服廃止 ドレスコードに 中川青和高 全日制県立校で初
(2022年9月28日 朝日新聞 資料6)
選ぶ自由と責任身につけて とある。
来年度から生まれ変わる中川青和高が制服を廃止し、代わりにドレ
スコードを導入する。ということである。
但し、女子は、スカートかスラックスとあるが、多様性、個人差
に応じた対応がなされるのかどうかは不明。



- 7 髪型や服装「古い校則廃止」後に学校に起きたこと
(東洋経済 2022年10月19日プリント 資料7)
中学校での取り組みの報告である。着地点「生徒の学ぶ権利を守る」
はシンプルである。

請願事項

- 1 学校、教育委員会は、個人差に配慮した、禁止規定のない新しい「校則」の作成を(校則の名称を含め)生徒会に依頼すること。
- 2 多様性、個人差に配慮した、禁止規定のない、新しい「校則」について、学校は、確認をした上、実施すること。
- 3 生徒会、学校双方で、新しい「校則」の見直しを継続すること。

添付資料1 2022年7月21日 17;45 産経新聞
資料2 2022年8月27日 朝日新聞
資料3 2022年9月13日 朝日新聞
資料4 2022年9月15日 朝日新聞
資料5 2022年8月31日 中日新聞
資料6 2022年9月28日 朝日新聞
資料7 東洋経済 (13面)

口頭意見陳述希望